

目次

【ストリーミング注文】決済pip差注文の設定 [P2](#)

pip差の数値設定 [P5](#)

<【ストリーミング注文】決済pip差注文の設定>

ストリーミング注文と同時にあらかじめ設定しているpip差で決済注文を出すことができます。

- 1 【注文】ボタンから【売注文】または【買注文】、いずれかをクリックします。



- 2 【新規注文】画面が表示されました。

上部の【ストリーミング】をクリックし【通貨ペア】、【売買】、【両建】、【Lot数】の各項目を設定します。

※ 各項目をクリックすると、選択画面が表示されます。

【売買】、【両建】は項目をクリックすることで表示が変更されます。

ここでは、「USD/JPY、1Lot、両建なし、許容スリップ50pips」としました。



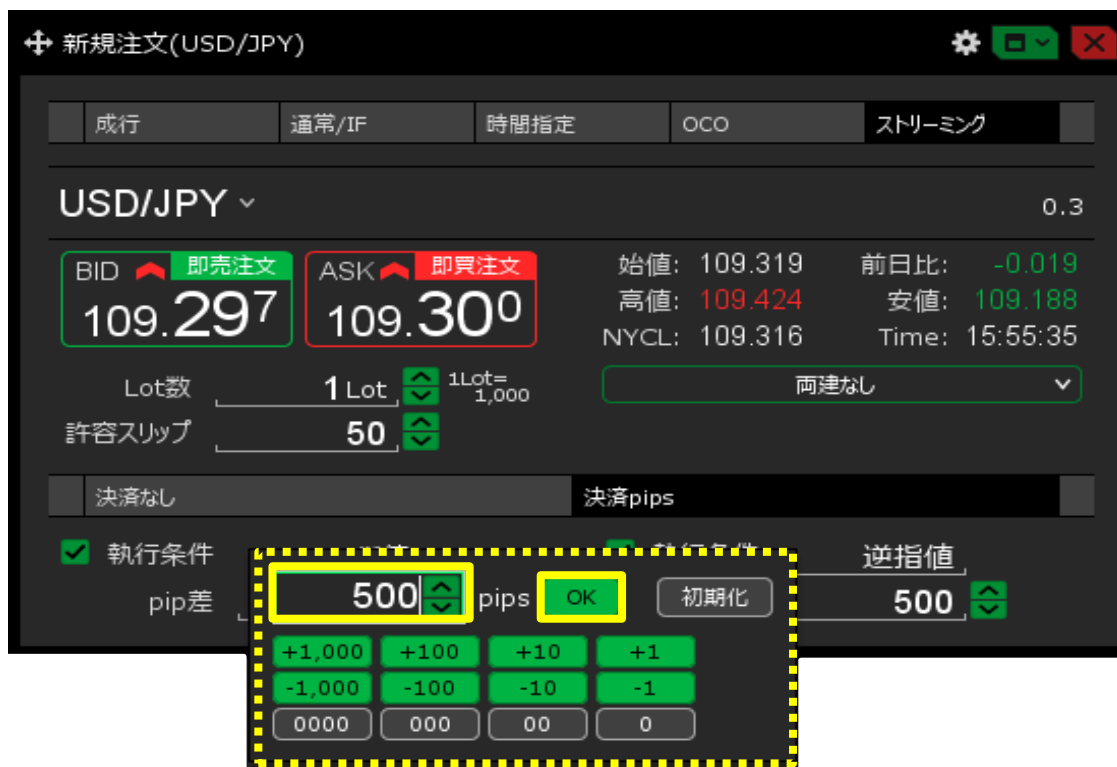
- 3 【決済pips】をクリックし、決済方法の設定を行います。
 ここでは、2つの【執行条件】にチェックを入れ、「指値」と「逆指値」を選択しました。



決済の種類は下記の5パターンが可能です。

- ① 指値
- ② 逆指値
- ③ トレール
- ④ 指値&逆指値
- ⑤ 指値&トレール

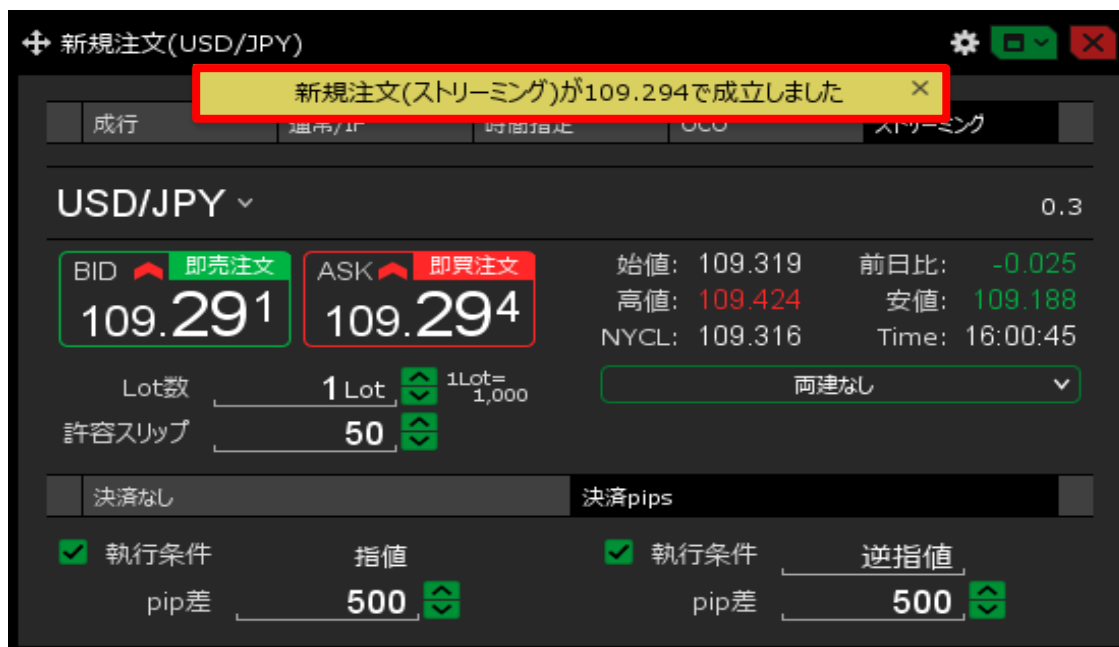
- 4 【pip差】をクリックして、決済の値幅を入力し【OK】ボタンをクリックします。



- 5 注文画面の中の【**BID**】・【**ASK**】をクリックすると、新規ストリーミング注文と同時に、設定した決済注文が発注されます。
ここでは、USD/JPY 1 Lot 新規買注文と同時に、新規約定値から500pips差の決済指値注文と決済逆指値注文を発注します。



- 6 注文結果が表示されます。
※ポジション一覧に表示されない等あれば、必ず注文履歴や約定履歴をご確認ください。



<pip差の数値設定>

1 【設定】→【通貨ペア毎の各種初期値を設定】をクリックします。

The screenshot shows the MATRIX TRADER C2 interface. The '設定' (Settings) button is highlighted in yellow. The '通貨ペア毎の各種初期値を設定' (Set various initial values for each currency pair) option is also highlighted in yellow. The interface displays account balances, charts, and a list of open positions.

2 【通貨ペア毎の初期値設定】が表示されます。

※【既定値に戻す】ボタンをクリックすると、全て初期値に戻ります。

【一括変更】ボタンからは、全ての通貨ペアを同じ値に一括で変更できます。

The screenshot shows the '通貨ペア毎の各種初期値設定' (Set various initial values for each currency pair) dialog box. The dialog displays a table of currency pairs and their initial values. A yellow dashed box highlights the '一括変更' (Batch Change) button and the resulting dialog box.

通貨ペア	基準Lot数	許容スリップ	許容スプレッド	指値幅	逆指値幅	トレール幅
USD/JPY	1	50		500	500	500
EUR/JPY	1	50				
GBP/JPY	1	50				
AUD/JPY	1	50				
NZD/JPY	1	50				
CAD/JPY	1	50				
CHF/JPY	1	50				
7ΔR/10V	1	50				

The dialog box also includes a '既定値に戻す' (Reset to Default) button and a '一括変更' (Batch Change) button. A yellow dashed box highlights the '一括変更' button and the resulting dialog box.

The resulting dialog box shows the following values:

- 基準Lot数: 1
- 許容スリップ: 50
- 許容スプレッド:
- 指値幅: 500
- 逆指値幅: 500
- トレール幅: 500

The dialog box also includes a '一括変更する' (Batch Change) button and a 'キャンセル' (Cancel) button.

- 3 通貨ペアごとに、変更したい項目の数値をクリックし値幅を設定後、【OK】ボタンをクリックします。
 ここでは、USD/JPYの指値幅を10銭（100pips）に設定しました。
 ※【指値幅】、【逆指値幅】、【トレール幅】を変更する場合、入力の単位はpipsです。
 例) USD/JPY : 50銭の場合…500pips、3銭の場合…30pips
 例) EUR/USD : 0.01000の場合…1000pips、0.00300の場合…300pips



- 4 設定が完了したら、【決定】ボタンをクリックします。



- 5 【ストリーミング注文】画面で決済方法を指値にすると、
【通貨ペアごとの初期値設定】画面で設定した「指値幅 100pips」が表示されます。
※【ストリーミング注文】画面を表示した際に、常に決済注文を有効にするには、
【設定】メニューの【全体設定を保存する】を行ってください。

新規注文(USD/JPY)

成行 通常/IF 時間指定 OCO **ストリーミング**

USD/JPY 0.3

BID 即売注文 109.338 ASK 即買注文 109.341

始値: 109.319 前日比: +0.022
高値: 109.424 安値: 109.188
NYCL: 109.316 Time: 16:06:04

Lot数 1 Lot 1Lot=1,000
許容スリップ 50

両建あり

決済なし 決済pips

執行条件 指値 pip差 100
 執行条件 逆指値 pip差 500